

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	金沢美術工芸大学	整理番号	1-2-001
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	国際的芸術家滞在制作事業（アーティスト・イン・レジデンス）		
申請単位	大学全体		
申請担当者	中川 衛		
<p>（取組の概要）</p> <p>金沢美術工芸大学における国際的芸術家滞在制作事業（アーティスト・イン・レジデンス）は、世界の第一線で活躍する著名なアーティストを招へいし、一定期間本学に滞在して学生及び市民と共に創作活動やパフォーマンス、ワークショップ等を行い、その創作現場を共有することにより、学生の創造力向上等の教育効果を上げつつ、広くその成果を社会に公開し、地域の文化振興、産業振興等に寄与しようとするものである。</p> <p>金沢美術工芸大学は、卓越した文化と芸術の伝統が息づく金沢の地において、昭和 21 年の創立以来、その伝統を受け継ぎながら、常に世界の新しい芸術潮流に呼応し、伝統的文化価値に革新の息吹を吹き込むことに努めてきた。</p> <p>この取組は、地域に根ざすと共に世界のアートシーンに向けて新たな芸術思想を発信しようとする、ローカルにしてグローバルな試みとなっている。</p>			
<p>（採択理由）</p> <p>本取組は、海外から現役芸術家を大学に一定期間滞在させ、創作活動を学生に公開することによる芸術教育です。この試みは学生・市民へ芸術分野での刺激を与えるという点でユニークなものです。本取組は、美術工芸分野ばかりでなく、音楽、スポーツ、舞台、演劇、伝統文化活動などの分野でも参考となり、共通性、公開性の点からも評価することができます。また財政的には、設立母体の地方自治体が支えており、公立大学の特徴を活かした試みであり、支援体制、組織性からも評価可能です。</p>			